



2011年6月23日

国際ロータリー第2790地区  
2010-11年度 クラブ 会長 様  
                  社会奉仕委員長 様  
2011-12年度 クラブ 会長 様  
                  社会奉仕委員長 様

国際ロータリー第 2790 地区  
第 2790 地区・東日本大震災被災者支援委員会  
委員長 織田 吉郎 (10-11 ガバナー)  
          山田 修平 (11-12 ガバナー)  
          得居 仁 (12-13 ガバナー)  
副委員長 浜名 賢一 (10-11 社会奉仕委員長)  
副委員長 菅井 直秀 (11-12 社会奉仕委員長)  
          津留 起夫 (11-12 新世代委員長)

## 大震災義援金を活用したクラブの被災者支援活動取り組みのお願い

東日本大震災で被害を受けられた皆様に改めまして心からのお見舞いを申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

拝啓 初夏の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。このたびの東日本大震災に際して義援金をお願いしましたところ、深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

おかげさまで当地区の皆様からの義援金は4600万円に達し(6/22 現在)すでにその全額をガバナー会に送金しました。また、当地区は被災地区でもあることから500万円の見舞金が贈られ、これにつきましては地区内の被災地クラブに配分致しました。

さらに、ガバナー会から1000万円が当地区の支援活動資金として振り込まれました。

そこで地区東日本大震災被災者支援委員会を立ち上げ、この委員会を窓口これを原資として、ロータリーらしい支援活動を展開することが、醸成していただいた皆様の意にかなうものと考えました。地区内クラブの皆様の積極的なプログラム運営によってこの1000万円が有効に使われてゆくことを願っています。

これを機に新たな社会奉仕や新世代奉仕活動の基礎が築かれることもあるでしょう。是非とも地区内の被災地を対象(原則として)に、クラブ単位や分区単位での取り組みを企画くださいますよう期待いたします。

つきましては、年度変わりのお忙しいところ恐縮ですが、新年度のクラブ協議会やクラブ理事会でご協議いただき、別紙アンケートに貴クラブのお考えをご記入になり、7月31日までに地区ガバナー事務所宛 FAX または電子メールでご回答くださいますようお願い申し上げます。地区ガバナーが指名する地区東日本大震災被災者支援委員会において協議の上、義援金適用事業を決定いたしたく存じます。

なお、ガバナー会に寄せられた全国からの義援金の大半は、災害遺児の教育環境作り資金として運用する方向で検討が進められておりますことをご報告いたします。(6月号ガバナー月信をご参照下さい。)

以上

2011-2012年度ガバナー事務所

FAX:0438-72-2794 電子メール:11-12gov@rid2790.jp